



Research Center for  
Integrative Evolutionary Science, SOKENDAI

## RCIES 葉山学術集会 助成成果報告書

学術集会代表者氏名（複数可）： 奥 大河

所属機関・職名： 総合研究大学院大学先端学術院統合進化科学コース 5年一貫博士課程 1 年

学術集会名：“進化”を通して見るさまざまな生物

開催日時・場所：2026年 1月 17 日～2026年 1月 18 日・オンライン開催

助成金額： 35000 円

参加人数： 両日合わせて 70 人ほど（重複含む）

RCIES 連絡教員氏名：五條堀 淳

### 1. 開催概要および主な成果（500 字程度）

生物の進化は幅広く興味を持たれる内容であり、また生物を理解する上でも重要な分野である。しかし、進化を扱う研究室は日本各地に分散していることもあり、日本において「どのような生物を扱い」、「どのような視点」で研究しているかについて、初学者となる学部生や高校生などが知る機会は限られている。そこで、対象生物が幅広くなるように研究者を招聘し、それぞれの研究を紹介して頂くセミナーを開催した。これによって幅広い参加者に進化学の幅広さを感じてもらい、また学部生や大学院生の進路選択の一助となることも目指した。ご講演に桂先生（京都大学）、井川先生（広島大学）、上坂先生（東北大学）、新美先生（基礎生物学研究所）をお呼びし、両生類・鳥類・昆虫といった幅広い対象種に対する遺伝子発現および集団ゲノム解析・染色体ダイナミクス・Evo-Devo・実験的な遺伝基盤の探索といった多様な研究をご紹介いただいた。参加者は高校生から大学教員、アカデミア外の社会人など多様な層が含まれていた。質疑応答含め、専門外の参加者は進化学の幅広さを感じ、専門に研究を行なっている参加者には新たな視座を得る機会になった。さらにご講演中のキャリア紹介や所属研究室のご説明、最新の研究内容の紹介を通して、学部生や大学院生が進路選択に対する他では得られない情報を得ることができた。また、若手の会の活動の周知や運営する交流用 Slack への新規加入を通して、進化学に関する若手研究者コミュニティの形成に寄与した。

集会の画像\*、プログラムの pdf などがあれば添付してください。センターHP にも掲載します。（\*画像に写っている方の許可を事前に得てください）

 進化学若手の会主催セミナー

## “進化”を通して見るさまざまな生物

開催日時：2026年1月17日（土）、18日（日） 14:00～16:30（両日とも）

開催形態：オンライン（Zoom） 開催時に使用する言語：日本語

様々な生物について、進化学の研究を紹介するセミナーです。進化学の幅広さと魅力を感じ取って頂きたいです。  
学部生・高校生など、学び始めたばかりの方も大歓迎です！

17日（土）

**桂 有加子 先生** (京都大学ヒト行動進化研究センター)

演題：カエルの性染色体進化をゲノムから読み解く

カエルでは、性染色体が何度も生まれ変わるという特徴的な進化が見られます。本講演では、ゲノム解析を通して明らかになってきた、性染色体進化のダイナミックな姿を紹介します。

18日（日）

**上坂 将弘 先生** (東北大大学院生命科学研究科)

演題：脊椎動物の発生におけるゲノム制御と形態進化

動物の個体発生はゲノム情報に基づき駆動され、このプロセスの変化が形態進化につながります。本発表では、遺伝子発現のスイッチである「遺伝子制御領域」に着目して行ってきた、脊椎動物の発生と進化の関係性や多様な形態が生まれるメカニズムについてお話しします。

参加登録：こちらのGoogleフォームから→  
(締め切りは2026/1/15 18:00です)

<https://forms.gle/Ttj8izvMvo1tFrz17>

ご不明な点などございましたら、右記のメールまで  
お問い合わせください。



**井川 武 先生** (広島大学両生類研究センター)

演題：温泉ガエルの環境適応から見るゲノム・遺伝子進化

日本列島は南の亜熱帯から北の冷帯まで広がり、すべての生物にとって不可欠な温度適応進化の“実験場”といえます。本講演では、温泉に耐えるリュウキュウカジカガエルと冷涼な本州に暮らすカジカガエルという対照的な2種について、異なる温度環境への適応とその進化の仕組みをゲノムと遺伝子の視点から探ります。

**新美 輝幸 先生** (基礎生物学研究所進化発生研究部門)

演題：テントウムシ斑紋とカブトムシ角形成の分子基盤

昆虫は進化の中で、斑紋や角といった多様でユニークな形質を獲得してきました。本セミナーでは、テントウムシの斑紋やカブトムシの角が、どのような遺伝子のはたらきによって作られるのかを紹介します。



共催・助成：

統合進化科学研究センター

RCIES葉山学術集会助成金により、本セミナーは企画・運営されています。

<https://rcies.soken.ac.jp/>

お問い合わせ：

[evowakate@gmail.com](mailto:evowakate@gmail.com)

X : @evowakate

HP : <https://evowakate.wixsite.com/website>

### プログラム

#### 17日

14:00～14:05: セミナーの説明と注意事項

14:05～15:05: 桂先生のご講演と質疑応答

15:05～15:20: 休憩

15:20～16:20: 井川先生のご講演と質疑応答

16:20～16:30: セミナー全体を通した質疑応答・各種お知らせ

～16:45: 解散

#### 18日

14:00～14:05: セミナーの説明と注意事項

14:05～15:05: 上坂先生のご講演と質疑応答

15:05～15:20: 休憩

15:20～16:20: 新美先生のご講演と質疑応答

16:20～16:30: セミナー全体を通した質疑応答・各種お知らせ

～16:45: 解散



Research Center for  
Integrative Evolutionary Science, SOKENDAI

日付 : 2026/01/21

報告者氏名 : 奥 大河

(所属・職名) 総研大統合進化1年

留意事項 :

こちらの報告書は、RCIES のウェブサイト（日本語/英語）にも掲載しますので、日英両方の様式にご記載をお願いします。